

鹿児島県医師連盟 FAX ニュース

※会員の皆様へ 鹿児島県医師連盟編集・発行のFAXニュースです。医師連盟関係の情報をこれから随時お送り致します。

編集・発行 鹿児島県医師連盟 TEL : 099 - 213 - 1011 FAX : 099 - 213 - 1012

衆院選の自民候補を激励

鹿児島県医療関連団体が総決起大会

鹿児島県の医療関連6団体による衆院選総決起大会が、12月11日(木)午後7時から鹿児島県医師会館4階大ホールであり、約500人が会場を埋めた。14日の投票日を間近にして、自民党公認候補を激励するのが目的で、鹿児島1区のやすおか興治候補(75)、2区の金子万寿夫候補(67)が駆けつけ、決意表明した。

決起大会では、まず鹿児島県医師連盟の池田琢哉委員長が挨拶。「二人は日本のため、鹿児島のために、なくてはならぬ政治家です。圧倒的勝利で二人を国政に送り出し、中央で活躍していただかねばならない」と述べた。このあと、鹿児島県歯科医師連盟の竹之下伸一会長、鹿児島県薬剤師連盟の内野悟会長、鹿児島県看護連盟の小原圭子会長、鹿児島県柔道整復師連盟の内清治会長が次々に挨拶。「気を抜くことなく、油断することなく、頑張る」「安心して暮らせる鹿児島をつくってほしい」「地方を熟知しているお二人にぜひとも当選してほしい」などと、候補者を激励した。

引き続き金子候補が「この選挙で、凛とした国家の姿を取り戻し、鹿児島から地方創生を実現する。そして強い鹿児島をつくりたい」と決意を述べた。やすおか興治候補は「デフレ脱却と地方創生をかけた選挙だ。歴史の第一歩でもあり、どんなことをしても、がんばり抜く」と決意表明した。

このあと、日本栄養士連盟鹿児島県支部の川西孝子支部長が、やすおか候補に、鹿児島県看護連盟鹿児島第3支部の原田昌子支部長が、金子候補にそれぞれ花束を贈った。

決起大会の最後は、鹿児島県医師連盟の林芳郎常任執行委員が「残された期間を戦い抜こう」と檄を飛ばしたあと、全員で「がんばろう」を三唱した。

衆院選の投票日は12月14日。鹿児島県医師連盟などは県内5選挙区で、自民党の公認候補を推薦している。

(文責・事務局)